

開催日時：平成26年1月22日（水）

14：00～15：30

開催場所：徳島市役所8階 庁議室

第6回 ひょうたん島川の駅ネットワーク市民構想会議

会議録（要約）

【出席者】

委員：10人

近藤委員、中村委員、大谷委員、阿部委員、長澤委員、黒田委員
真鍋委員、服部委員、間委員、阿部委員

オブザーバー：5人

徳島県県土整備部 河川振興課

徳島県県土整備部運輸局 運輸政策課港湾空港経営室

市側：16人

事務局（都市整備部 再開発推進室ほか）

傍聴者：0人

【会議プログラム】

- 1 開 会
- 2 議 事
- 3 閉 会

【会議の内容】

1 開 会

挨拶（会長）

2 議 事

（徳島市役所8階 庁議室）

会長により進行

- ・ 川の駅候補地の整備について（経過説明）
- ・ 第5回市民構想会議のまとめ（報告）、第3回ワークショップについて（報告）
- ・ ひょうたん島川の駅ネットワーク構想（案）について
- ・ ひょうたん島川の駅ネットワーク構想資料編（案）について

4. 閉 会

以 上

第6回市民構想会議のまとめ(平成26年1月22日)

注) 事務局意見は回答を求められた場合のみに発言した

キーワード	委員意見	事務局意見
第5回構想会議まとめについて	<ul style="list-style-type: none"> ・発言内容、その情感に、心を感じる発言が多々あった。 ・会議が終わっても使える資料と思うため、使用できる状況になったら使用してほしい。 	
川の駅ネットワーク構想(案)について	<ul style="list-style-type: none"> ・本編P.6の「助任川側に整備を目指す川の駅舎」という表現をしているが、文化庁との協議で助任橋たもと棧橋が整備できないということになった場合、これはどういう意味を持つのか。 ・助任橋たもと棧橋とは別に、助任川側に何かできるのを予定するということか。 ・助任川側に目指す川の駅舎というのは、徳島文化公園前棧橋に変わる可能性もあるのか。 「助任川側」という表記がわかりにくいので、「これはこういうことを考えてこういう表記にしています」というようにして記載するとわかりやすい。 ・ぼやっとしたイメージで、本編P.6の「助任川側に整備を目指す川の駅舎」を作成しているが、徳島文化公園前棧橋を入れてはどうか。 ・助任橋たもと棧橋と徳島文化公園前棧橋ではイメージが違うはずである。それを並記したような形で記載するのではなく、別々の記載にし、文化庁の協議によって変更があり得るといった記載の仕方にした方がいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋たもと棧橋の位置は、国の史跡指定区域になります。昨年秋から、文化庁に計画案を示して協議をお願いしています。その中で、護岸の改変をできるだけ少ないようにしてほしいというやりとりがあり、現在縦型の棧橋から、横型でより護岸に改変が少ない棧橋案を示しておりますが、まだ正式な回答を頂いておりません。もし文化庁との協議に時間がかかった場合は、徳島文化公園前棧橋を先に着手させていただき、引き続き助任橋たもと棧橋での棧橋設置を働きかけていきたいと考えています。文化庁からの返答しだいでは、助任橋たもと棧橋の棧橋の整備はできたが、建物については、難しいということになるかもしれません。その場合は、徳島文化公園前棧橋やその他の候補地に助任川側の拠点となる川の施設の整備ができるかどうかの可能性を探っていきたいという点で、助任川側という表現にさせて頂いております。1年を一つの目安と考え、文化庁と協議をさせて頂きたいと考えています。助任橋たもと棧橋は川の駅ネットワーク構想を推進していくにあたり、かけがえのない重要なポイントであると認識をしているので、粘り強く関係機関と協議をしていきたいと考えております。 ・徳島文化公園前棧橋に変更する可能性もありますし、文化庁との協議によっては助任橋たもと棧橋にできる可能性も残っております。 ・「助任川側の駅舎イメージ」ということで、徳島文化公園前棧橋も含んでいます。 ・徳島文化公園前棧橋にも駅舎をつくり、助任橋たもと棧橋にも駅舎をつくるというイメージをおっしゃっているのでしょうか。

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅ネットワーク構想(案)について	<ul style="list-style-type: none"> 今回の構想の中に、不確定要素が入るということであるため、徳島文化公園前棧橋の施設条件などを記載しておけば、もし助任橋たもと棧橋が出来なくても、イメージとして、徳島文化公園前棧橋はこれでできるということが、はっきりと打ち出せるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、「助任川側(助任橋たもと棧橋・徳島文化公園前棧橋)」というような表記でいかがでしょうか。
	<ul style="list-style-type: none"> 分けて記載してほしいが、他の委員はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新町川側の新町橋河畔棧橋に拠点となる川の駅を整備しますので、助任川側も1か所の整備をまずは目指したいと思います。助任川側には、助任橋たもと棧橋、徳島文化公園前棧橋、文学書道館寂聴棧橋の候補地がありますが、助任川側に市民活動ができる駅舎の整備を目指すというイメージで本編P.6 は記載しております。
	<ul style="list-style-type: none"> 要綱のようなものを記載するのか、それとも、それぞれの候補地には違うイメージがあるので、それを記載するのか。 助任橋たもと棧橋と、徳島文化公園前棧橋の駅舎のイメージを、もう少し踏み込んだところまで書くと、書き分けやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 分かりました。
	<ul style="list-style-type: none"> 助任橋たもと棧橋というのは必須な場所だと思うが、無くなる可能性もあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎は難しいかもしれないが、棧橋は文化庁に資料を提出し協議を進めており、引き続き頑張りたいと思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎をどこかにつくればいいということではなく、「場所」ということで考えていかなければいけない。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 川の駅というのは、まちづくりの一端を担うものである。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 助任橋たもと棧橋は、拠点となる川の駅の新町橋河畔棧橋の対角に位置し、ひょうたん島の内側にある駅舎ということで大きな意味がある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ひょうたん島の内側に文化施設があり、ひょうたん島一体が徳島市の観光地であるが、文学書道館寂聴棧橋や徳島文化公園前棧橋だと、文化施設にふれられるような距離感が非常に難しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> これまでの構想会議の議論の中で、助任橋たもと棧橋がベストだということで始まっており、必ず設置するというでなければ、全体のシナリオが変わってくるのではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 助任橋たもと棧橋は、必ずどうにかして欲しい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 川の駅ネットワーク構想のそもそもの目的が、川の駅を使って「徳島を良くしよう・団体や活動を繋げよう」ということであり、徳島を良くするというものである。 	<ul style="list-style-type: none"> 助任橋たもと棧橋は重要な位置ですが、施設ありきでなく、助任橋たもがかげがない場所なので、文化庁と協議を行い、棧橋の整備を目指しておりますが、建物となるとハードルは高くなります。そこで、場所のみにこだわるのではなく、徳島文化公園前棧橋にも後背地として広大な未利用地があります。とくしまひょうたん島博覧会では、市民の皆様に活用して頂いたという実績があり、より広い視野で川まちづくりを目指すために、徳島文化公園前棧橋等、独自の条件を考慮し、駅舎の整備というものを考えたいと思います。 	
<ul style="list-style-type: none"> 大学生などが活動する場所となり得る魅力的な場所ということで、助任橋たもと棧橋が候補地になった。 		
<ul style="list-style-type: none"> 助任橋たもと棧橋の整備が不可能であれば、ここに施設をつくるということを目的にするのではなく、別のところで活動ができるかということ柔軟に考えるべきである。 		
<ul style="list-style-type: none"> ただ物をつくるためだけに前に向かって進んで行くというのであれば、そもそもの目的や目指すところが違ってくるのではないか。 		

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅ネットワーク構想(案)について	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎の大きさはどの程度の広さを検討しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新町橋河畔棧橋に整備する拠点となる川の駅舎については、再開発ビルの中に約20坪程度、助任川側に整備する棧橋については、設置する場所により変わってきますが、木造をイメージした20坪以上の広さを考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁からの返答には、1年かかるということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時期や感触は、まだ協議中のため分かりません。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今は助任橋たもと棧橋の、棧橋前提で進めるしかないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な場所と認識していますので、棧橋は是非とも整備したいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎の規模ではなく、それぞれの拠点や駅の周辺も含めた活動団体の、具体的なイメージが各駅にあってしかるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん島川の駅連絡会は、来年度予算で要求しております。夏までには立ち上げ、いろいろな情報共有を始め、様々な活動を行いたいと思います。ひょうたん島川の駅連絡会の中で、引き続き各駅のイメージや、実証実験が始まってからも、市民からの意見を伺ながら、川の駅ネットワーク構想を進めていきたいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各駅のイメージが、駅の点として面として繋がっていく、最終的には徳島のまちづくりになっていくのではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、「ネットワーク活動推進のための組織づくり」とあるが、各駅のイメージをもう少し掘り下げる意味がある。この組織を活用し、それぞれの駅のコンセプトをもっと充実させた方がよい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一度それぞれの活動団体の中で、ネットワーク活動、連絡会のようなものをつくり、市民から意見を吸い上げる組織委員会があり、それを受けて、何かやっていくということができれば、もう少し市民の身近なものになっていくのではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が使いやすい川の駅のイメージを堅く考えてしまうと、市民が使えない駅舎になってしまう。もう少し開かれた駅舎であるべきである。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅は、コミュニティの場所であり、そこに行くとその周辺のことが全て分かるというような駅舎イメージがもう少し出ないかという議論が、このネットワーク構想会議の中で無かったのではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回から今回までの間に文化庁との協議があったため、それをきっかけに1歩深く考えられるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋たもと棧橋と徳島文化公園前棧橋では、立地条件もコンセプトも違いますので、表記の仕方を検討させていただきます。どちらかの候補地を整備するとさせていただきます。コンセプトが違いますので、整理をさせていただきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎というのは、利用する人だけでなく活動する人、利用する市民、拠点の性格を入れる等、議論にもかなり時間が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの文化庁との協議しだいとなります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅ネットワーク構想の会議としたら、圧倒的に助任橋たもと棧橋につくって欲しいが、非常に厳しいかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それは協議中です。
<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁との協議が不調であった場合、北側にも活動拠点が必要と思われるため、代替案として後背地の活用も含め、徳島文化公園前棧橋も可能性はあるのではないか。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・本編P.4のイメージ図の棧橋であれば、助任橋たもと棧橋は整備できるのか。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まり、川の駅があることにより街が発展していく。船が着くだけでは、なかなか発展していかない。 		

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅ネットワーク構想(案)について	<ul style="list-style-type: none"> ・建物が無くても栈橋の大きさが十分あり、水道・電気設備・テント(屋根)があり、いろいろな催しが開催できれば人は集まる。 ・屋根も文化庁の許可がおりないのであれば、仮設のテントを建てることもできる。 ・万代中央ふ頭でも栈橋はあるが、そこに水道・電気・屋根があり、もう少し安定していれば、栈橋の上で遊べる。しかし、栈橋が小さく揺れて危険なため、栈橋の上では遊べない。 ・電気・水道設備を備えた、栈橋・ボートハウスのようなものがあると、また違ったコミュニティ施設になってくるのではないか。 <p>人がいられると発展していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水道・電気設備については、技術的に可能ですので、今後考えたいと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・新町川水際公園だけでいろいろなことをしているのではなく、ひょうたん島一体でいろいろな催しを開催する方が、発展をしていく。 ・助任橋たもと栈橋の栈橋の大きさはどれくらいか。 ・新町川水際公園ボートハウス前栈橋で雅楽の演奏会をするとき、5mでは少し足りない。6mになると河川の中にだいが出るようになるのか。 ・船が出航するだけであれば4mでいけるが、それ以上に地域づくりを考えていくと、6mの物をつくっておくと、後々利用する幅が広がる。 ・栈橋の提議で、屋根を設けてはいけないなど何かあるのか。 ・人が集まっていざわいがあり、それを実現するために、仮に駅舎ができなかったとしてもできる限りのことは行う。 ・雅楽の演奏などは文化的なものであり、文化庁との協議の時には栈橋とセットにして頑張ってもらいたい。 ・助任橋たもと栈橋の近くには、徳島城博物館がある。ここを生かしていければ、徳島はもっと広がっていく。するからには次につながっていくものにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さ20m、幅4mです。 ・川の中へ2m出ます。 ・検討させていただきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁との交渉したいと思うが、我々が議論してきたことを実現するため、抵抗の中でいかにそれを最大化するようなことを、これから事務局でしていけないといけない。 <p>議論が続くことになるが、各委員も近くにいるので、いろいろと協力をお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋たもと栈橋と徳島文化公園前栈橋ではコンセプトが違いますので、書き分けて書かせていただきます。その中で優先順位を付け、今後検討していく案をつくります。文化庁については、助任橋たもと栈橋は、かけがえのない場所でありますので、責任を持って粘り強く協議を行います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・万代町はこれからという所なので、たくさんしていかないといけないことがある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・一応栈橋が浮かんでいるからいいということではなく、もう少し充実させて欲しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレや護岸工事なども関わってくるが、万代中央ふ頭栈橋は施設としてあるからいいじゃないかということではなく、川の駅候補地の一つなのでもう少し仲間に入れて検討をして欲しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・一応あると、あるとでは違う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理者として県が管理していますので、県と協議をして考えていきます。今回、ひょうたん島川の駅ネットワークの中に、ひょうたん島からちょっと離れていますが、万代中央ふ頭もいれさせていただいておりますので、協力して同じ方向を向いて川の駅ネットワークを進めていきたいと思っております。

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅ネットワーク構想(案)について	<ul style="list-style-type: none"> ・街中の歩道が、狭いところが多い。 ・川沿いなども広めの歩道が、確保されていたほうがいい。 ・建物のあるなしにかかわらず、ストーリー性のあるもの、遊び心のあるものを設けられればいい。 ・遊び心があるまちづくり、今回の川の駅ネットワーク構想のつくりになればいい。 ・「施設の機能」で、歴史や主要な観光ポイント、施設ポイントなどを書いた他言語(4カ国語)の地図を設置することで、観光客にも優しい街になるのではないか。 ・新町橋横の野上彰の碑はどうなるのか。 ・観光の仕事は面的に繋がっている。川の駅ネットワークは、川で線的に繋がっている。 ・就航後には、ウォーキング、自転車、ぐるぐるバス等と船をセットにして利用していければいい。 ・船に自転車は乗れるのか。 自転車は乗る。 ・自転車と交通機関は、セットで考えた方がいい。 ・ひょうたん島内の歩道や自転車道をどうするかといことも、違う担当かもしれないが、力を合わせて頑張りたい。 ・川の駅ネットワーク構想で駅をつくれたので、次のステップではこのひょうたん島川の駅連絡会でどのようにこれを活用していくかということになる。 ・ひょうたん島にある名所・名跡を周れるマップの作成、周遊船の運航状況や仕組み等の運航条件等を、今後ひょうたん島川の駅連絡会議などで精査していかないといけないものがない。 ・報告書という観点からP.6が宿題となりました。「助任川側の川の駅舎のイメージ」の表記に関して、もう少し検討して分かりやすくする。事務局案について、会長・副会長で確認を行い、報告書としてまとめる。 ・人がいる条件は、そこに食べ物があるということである。 ・今、いろいろな設備をつくっていれば、後々の人たちがいろいろなことを考え、可能性が広がっていく。 ・人が集まるにぎわいを醸し出す仕掛け、これはハードとソフトの両方が必要であり、そういったことに力を入れていって欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野上彰の碑ですが、野上彰に縁のある公園に移設することを検討しています。川の駅ネットワーク構想は、システムをつけたから終わりではないと思っています。観光ガイドボランティア会でも、船を利用したモデルコースをつくるなど、協力をお願いしたいと思います。定着までには一定の時間が掛かると思いますが、関係団体の皆様と一緒に力を合わせて粘りよく川の駅の魅力の伝え方というものも考えていきたいと考えています。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・議論が有意義であった。 ・各委員いろいろな意見を持っており、その意見交換をするということにも意義があった。 ・現実的なものになるように頑張りたい。 	